平成23年（2011年）4月1日　第962号

広報えびな 4/1日号

編集・発行　海老名市役所　市長室
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
代表☎046（231）2111　FAX046（233）9118
HP http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、海老名市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
問　同センター　（☎237・3001）

世帯と人口（3月1日現在）　世帯50,961　人口127,515人　男64,730人　女62,785人

東北地方太平洋沖地震　いまわたしたちができること

～地震後の海老名市の取り組み～

▼避難所開設　帰宅困難者にも開放

市内では、3月11日の地震発生当日に、コミセンを中心とした公共施設の12カ所に避難所を開設。海老名駅を中心とした600人近くの駅滞留者で当日の帰宅が困難となった人々のうち、およそ400人が避難所を利用しました。

市内の業者からパンや飲み物の提供を受け、避難所の利用者の方に配布することができました。

▼被災地への支援

地震発生当日から、消防職員7人、消防ポンプ自動車1台、消防支援車1台で構成された緊急消防援助隊消防部隊を被災地に派遣しました。

救援隊は、県内他市町村の救援隊とともに、宮城県仙台市若林区へ赴き、被災地での救助活動を展開。4日交代体制で任務にあたりました。

その後19日からは、福島県福島市へ救急部隊を派遣。原子力発電所の事故を受けて避難区域から逃れてくる人々を、安全な地域まで救急車で運ぶ支援を行いました。

▼姉妹都市白石市への支援

市の姉妹都市である宮城県白石市も今回の地震で大きな被害を受けました。地震直後の白石市は市内全域が停電し、7世帯が全壊、16世帯が半壊しました。一部の地域では断水が発生し、およそ1700人が避難所での生活を余儀なくされました。

また、多くの民家の屋根瓦が落ち、地盤の液状化現象でマンホールが歩道の上に浮き上がったほか、市庁舎の議場の天井が崩落するなど、地震の被害は甚大です。

市では、災害時の相互支援に関する協定を結ぶ北海道登別市とともに、白石市からの救援依頼を受け、物資輸送などの支援を開始しました。

地震直後は、陸路での搬送が困難であったため「防災に関する覚書」を締結している米海軍厚木基地の協力を得て、非常食をヘリコプターで輸送しました。

その後、5回にわたり、消防職員を含めた市職員が消防車両など3台で救援物資の搬送をしたほか、社団法人神奈川県トラック協会の協力により、大型トラックで食料品や肌着、紙おむつなどが届けられました。

救援物資協力団体・企業

㈱栄屋製パン、㈱神戸屋、コカ・コーラセントラルジャパン㈱、アツギ㈱、川上産業㈱、東罐興業㈱、㈱ウェルパーク、加次食品㈱、サンインテルネット㈱、白石海老名友好親善交流協会

（順不同・3月22日現在）

▼義援金の受け付け

市では、被災地への義援金を受け付けています。募金箱は、市役所1階エントランスホールのほか、保健相談センター、中央図書館、有馬図書館にも設置しました。

皆様からお預かりしたあたたかいご支援は、日本赤十字社を通して、被災地に届けられます。

自然災害は、いつどこで発生するのか予測するのは難しく、人間の力で止めることはできません。万が一のときに備え、日ごろから一人一人が対策を講じておくことが必要です。

市では、今後も被災地への支援を継続して行います。

※停電時の注意について※

計画停電が実施されています。停電時には次のことにご注意ください

◎エレベーターは使わない
◎交差点・踏切に注意
◎ガス器具の使用は換気を確認する
◎アイロン・ドライヤーなどはプラグを抜く
◎水道が使えなくなる場合がある
◎買いだめしない
◎部屋の中を整理する

停電時間外は節電にご協力をお願いします。

●えびなメールサービスをご利用ください●

【登録の仕方】
①携帯電話やパソコンのメールを起動後、宛先欄にpsc2.i@fofa.jpと入力し、空メールを送信してください。
※本文や件名、住所・氏名などの入力は不要です。
②仮登録された方の携帯電話やパソコンへ本登録用メールが届きます。
その中の利用規約サイトのURLから利用規約を確認後、本登録用サイトのURLから登録画面を表示してください。
※本登録用メールが届かない場合は、迷惑メール対策の設定をしている場合がありますので、設定を変更してください。
③利用したいサービスと地域を選択し送信すると、本登録完了となります。
④本登録完了後、登録完了メールが届き、メールサービスの利用が可能となります。

市民の皆さまへ

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

海老名市の姉妹都市である宮城県白石市も地震の被害を受け、多くの方が避難所生活を送っておられます。現在、緊急支援物資の輸送や消防士の派遣など、あらゆる支援を行っているところです。

また、東京電力から発表がありましたとおり、海老名市におきましても計画停電が実施され、しばらく継続される見通しです。この停電により、公共交通機関の乱れや断水など、市民の皆さまにご不便をおかけする部分もあると思います。しかしながら、この未曾有の災害に対しては、国民全体で協力していくことが不可欠です。市民の皆さまにおかれましては、停電に対する備えをしていただくとともに、ぜひとも冷静な対応をお願いいたします。

本市といたしましては、適切な情報提供と災害対策、そして被災地の支援に全力で取り組んでまいります。市民の皆さまも、それぞれの立場で節電・節水などご協力いただきますようお願いいたします。

海老名市長
内野　優

※再生紙・環境インクを使用しています